

明石工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	工作実習Ⅳ B		
科目基礎情報								
科目番号	0020			科目区分	専門 / 必修			
授業形態	実習			単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	機械工学科			対象学年	4			
開設期	後期			週時間数	2			
教科書/教材	プリント配布							
担当教員	大森 茂俊							
到達目標								
(1)CADや加工の概念を理解し,設計から生産までのプロセスを理解する (2)生産におけるコストや品質を踏まえた手順書,行程表を作成できる								
ルーブリック								
	理想的な到達レベルの目安			標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	CADや加工の概念を理解し,設計から生産までのプロセスを十分に理解できる			CADや加工の概念を理解し,設計から生産までのプロセスを理解できる		CADや加工の概念を理解し,設計から生産までのプロセスを理解できない		
評価項目2	生産におけるコストや品質を踏まえた手順書,行程表を的確に作成できる			生産におけるコストや品質を踏まえた手順書,行程表を作成できる		生産におけるコストや品質を踏まえた手順書,行程表を作成できない		
評価項目3								
学科の到達目標項目との関係								
学習・教育目標 (F) 学習・教育目標 (G)								
教育方法等								
概要	1～3学年で学習した実習の応用として,生産を意識した実習を行う.さらに各種作業を効率的に行うための生産方式の選択能力を養い,生産管理能力や問題意識および解決能力の育成にも努める.							
授業の進め方・方法								
注意点	技術者として『物』を生産する能力を身に付けるため,自ら問題意識を持ち積極的に考え,正しい解決をする能力を培うよう心がける 合格の対象としない欠席条件(割合) 1/3以上の欠課							
授業計画								
後期	3rdQ	週	授業内容			週ごとの到達目標		
		1週	生産総合実習(加工・評価)Ⅰ-1			加工上の効率阻害要因(無駄)など実習を通じて作業分析できる		
		2週	生産総合実習(加工・評価)Ⅰ-2			加工上の効率阻害要因(無駄)など実習を通じて作業分析できる		
		3週	生産総合実習(加工・評価)Ⅱ-1			実習データに基づき問題点の分析・抽出ができる		
		4週	生産総合実習(加工・評価)Ⅱ-2			実習データに基づき問題点の分析・抽出ができる		
		5週	生産総合実習(加工・評価)Ⅲ-1			コストおよび工程管理など計画と実績との比較を行い,問題点を分析・抽出できる		
		6週	生産総合実習(加工・評価)Ⅲ-2			コストおよび工程管理など計画と実績との比較を行い,問題点を分析・抽出できる		
		7週	生産総合実習(加工・評価)成果発表			成果をチームごとにプレゼンし,評価する		
	4thQ	8週	レポート作成					
		9週	3D-CAD応用実習(製品化)Ⅰ-1			試作品の分析を行い,問題抽出ができる		
		10週	3D-CAD応用実習(製品化)Ⅰ-2			試作品の分析を行い,問題抽出ができる		
		11週	3D-CAD応用実習(製品化)Ⅱ-1			製品の問題点抽出などから製品化に向けた分析評価ができる		
		12週	3D-CAD応用実習(製品化)Ⅱ-2			製品の問題点抽出などから製品化に向けた分析評価ができる		
		13週	3D-CAD応用実習(製品化)Ⅲ-1			市場調査などから製品の販売戦略を分析することができる		
		14週	3D-CAD応用実習(製品化)Ⅲ-1			市場調査などから製品の販売戦略を分析することができる		
		15週	3D-CAD応用実習(製品化)成果発表			製作した製品の価値や特徴をチームごとにプレゼンし,評価する		
		16週	期末試験実施せず					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標								
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週	
評価割合								
	試験	レポート	出席	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	0	60	30	10	0	0	100	
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0	
専門的能力	0	60	30	10	0	0	100	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	